

注：指示があるまで開けないで下さい。

## 総合防犯設備士資格認定試験

### 第一次試験(筆記方式)

A 基礎問題 (必須)	
出題	10 問
時間	90 分
配点	1 問 20 点・合計 200 点

受験番号	— —
氏 名	

### 注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験票」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって記入して下さい。
5. 「試験問題」・「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。
6. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。  
ただし、試験開始後30分、および試験終了前10分間は退席できません。  
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
7. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



## A 問題-1 (セキュリティについて1)

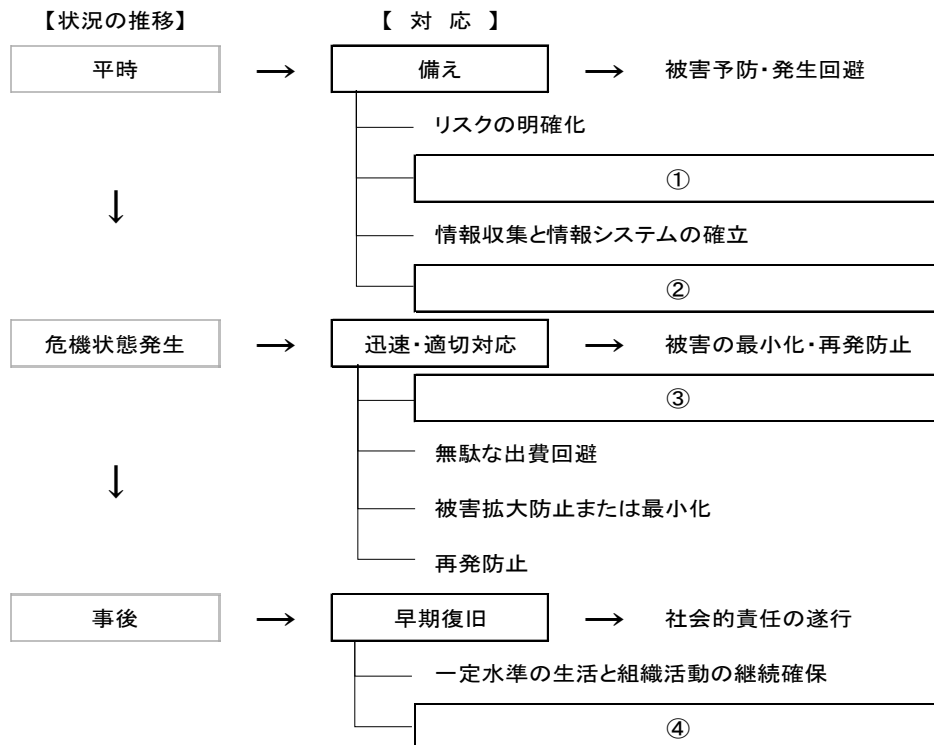
安全で平和な生活と組織活動を継続するための資源であり、財産であるリソースを記入例にならって五つ記せ。

【解答欄】

番号	分類	リソース
①	無体物	
②		権利
③		
④	有体物	
⑤		
⑥		

## A 問題-2 (セキュリティについて2)

下記のチャートは危機管理のステップについて示している。チャート内の①から④に該当する適切な言葉を下の解答欄に記せ。



【解答欄】

①	
②	
③	
④	

### A 問題-3 (防犯の理論)

防犯環境設計は、犯罪の発生する“場”に着目し犯罪企図者が犯行を実行しにくい環境を作ること  
で犯罪の発生を防止しようとするものである。説明欄に該当する防犯環境設計の四つの原則名を記せ。

【解答欄】

4原則	説明
	侵入口となる窓や扉を突破されないように強化すること。
	侵入口となる部分へ容易に近づけないようにすること。
	犯罪企図者が見られている状況を作ること。
	犯罪企図者などの部外者の存在が不自然に見え社会的な抑止力が働くような雰囲気を作ること。

### A 問題-4 (防犯対策の考え方)

防犯対策は、防犯設備機器を設置するばかりでなく、建物の状況、設置場所、周辺環境、費用面などを  
勘案して防犯グッズ(防犯対策用品)を有効に活用する手立てもある。説明欄に該当する防犯グッズ  
を記せ。

【解答欄】

防犯グッズ	説明
	敷き詰めた上を歩くと砂利同士が擦れ、一般の砂利に比べて大きな音がする防犯に効果的な砂利。
	人を検知して自動的に点灯または点滅し侵入者を威嚇する照明器具。
	錠前付近の隙間を埋め、ボールなどが入らないようにするための金具。
	開扉時に扉を半開きにし、押し売りなどの来訪者により強引に扉を全開状態にされないようにする金具。

## A 問題-5 (防犯設備の構築)

下表は、防犯カメラシステムを構築するのに必要な注意点を「撮影対象場所」、「設置場所」などの項目ごとに整理したものである。撮影対象場所の項目の注意点のように、各〔 〕内を埋めよ。

### 【解答欄】

項目	注意点
撮影対象場所	<p>〔            犯罪が発生しやすいと思われる場所、防犯診断の結果脆弱であると思われる場所、それ以外にもカメラによる記録が必要な箇所など            〕</p> <p>を対象とする。</p>
設置場所	<p>〔            〕</p> <p>などにも十分配慮して設置する。</p>
撮影目的と画角の選定	<p>〔            〕</p> <p>を選択する。</p>
防犯カメラの選定	<p>全ての防犯カメラは</p> <p>〔            〕</p> <p>を備えたものとする。</p>
デジタルレコーダーの選定	<p>〔            〕</p> <p>を有したものとする。</p>

## A 問題-6 (防犯設備の設計)

下表は、防犯設備の設計完了後において、設計の内容全般の評価についての記述である。四つの項目に対する検証内容を記入例にならって一つずつ記せ。

### 【解答欄】

項 目	内 容
防犯上の有効性の 検証	・ 人の動線も踏まえて外部からの侵入はもとより敷地・建物内部での人の行動に対し、施主の懸念事項が解消されるか。
	・ 標的となりうる場所への侵入の阻止、侵入者の発見及び追跡などが有効に発揮できる設備となっているか。
	・ 対策に抜け落ちがないか。
設計内容の検証	・ 機器等の設置位置、配線仕様、配線ルート等が適切で、かつ現場での施工に十分配慮されているか。
運用面からの検証	・ 防犯設備の運用にあたって利用者に不便を強要することはないか。
維持管理面 からの検証	・ 使用する機器、およびそれを構成する部品等の寿命や点検周期は、他の設備と同等レベルか？極端に短いものはないか。
総合評価	・ 防犯設備を構成する各システムのグレードに大きなばらつきはないか。

## A 問題-7 (総合防犯監査 1)

総合防犯監査と防犯審査が相違する内容について空欄を埋めよ。

【解答欄】

	総合防犯監査	防犯審査
目的		審査基準に対する適合性の判定
評価項目		審査基準に定められた項目を評価
対象範囲		審査基準に定められた対象に限定
実施者		審査基準などに定められた資格などを保有する審査人
実施時期		審査基準の設定・改定時や対象物件の認定資格取得時・新築・増改築時など

## A 問題-8 (総合防犯監査2)

総合防犯監査に用いる主な監査技法は、「レビュー」・「アンケート」・「インタビュー」・「視察」があるが、そのうちレビューについて各欄を埋めよ。

【解答欄】

収集する 情報	監査の最初の段階で、被監査組織の全体像把握、監査項目の決定に用いる情報を三つ、具体的に記せ。
	-----
	-----
留意点	収集した情報に関しては、紛失、盗難、不正持ち出しなどを防止しなければならないが、それはなぜか簡潔に記せ。
	-----

## A 問題-9 (総合防犯1)

これまでは、日本は安全で平和であったので、セキュリティを意識しなくても人々の生活や企業等の安全な活動ができていた。

なぜ、日本が安全で平和であったのか具体的な内容を解答欄の①記入例にならって、四つ記せ。

【解答欄】

①	周辺国との関係が比較的良好に保たれてきたこと。
②	
③	
④	
⑤	

## A 問題-10 (総合防犯2)

次の内容は、サイバー犯罪の形態について説明したものである。具体的な説明に該当する解答欄の①～④のサイバー犯罪の形態を空欄に記せ。

【解答欄】

番号	サイバー犯罪の形態	具体的な説明
①		コンピューターに感染して、利用者の意図する動作をさせなかったり、コンピューターの機能を破壊したりするプログラム
②		コンピューターのハードディスクなどに記録された情報やキーボードの操作(入力)情報、表示画面の情報などを外部に流出させる機能を有するプログラム
③		銀行など、企業からのメールを装い、メールの受信者に実存する企業の偽ホームページにアクセスさせて、そのページにおいてクレジットカード情報を入力させるなどして、情報を不正入手し悪用する行為
④		コンピューターの名前とアドレスの相互変換を行う DNS (Domain Name System)サーバーを不正に改ざんし、ユーザーが正しい URL を入力しても、自動的に偽のサイトに誘導して個人情報の搾取などをする行為